

令和6年度

山形市郷土館運営協議会

日 時 令和5年7月2日(火)
午前10時30分～
会 場 山形市役所9階901会議室

1 開 会

2 文化スポーツ部長あいさつ

3 会長あいさつ

4 報 告

令和5年度山形市郷土館事業報告について

5 協 議

令和6年度山形市郷土館事業計画(案)について

6 そ の 他

7 閉 会

山形市郷土館運営協議会委員名簿

任期：令和5年4月1日から令和7年3月31日まで

氏名	職業等	備考
やまの うち はげむ 山 内 励	学校法人東海山形学園副理事長	会長
さ とう こと 佐 藤 琴	山形大学基盤教育院 准教授	副会長
さい とう ゆう いち 齋 藤 祐 一	山形県立博物館 館長	新任
さだ ひろ みつ あき 貞 弘 光 章	山形市立病院済生館 病院事業管理者	
さ とう みよ こ 佐 藤 美代子	山形市立西山形小学校 教諭	
し むら なお よし 志 村 直 愛	東北芸術工科大学 芸術学部 歴史遺産学科 教授	
たけ はら かず お 竹 原 万 雄	東北大学東北アジア研究センター 上廣歴史資料学研究部門 助教	
はせがわ たみ こ 長谷川 多美子	山形市観光ボランティアガイド協会 運営委員	

(五十音順)

事務局名簿

文化スポーツ部長 平吹 史成
 次長（兼）文化創造都市課長 村上 武
 課長補佐 山川 渉
 課長補佐（兼）文化財係長 齋藤 仁
 主幹 田辺 政則
 地域おこし協力隊 今 のどか
 地域おこし協力隊 伊藤なつみ
 郷土館職員 武田 喜好

令和5年度 山形市郷土館事業報告

1 郷土館入館者数（資料1参照）

令和5年度	令和4年度	前年比
39,627 ^人	32,202 ^人	+23(%) +7,425 ^人

令和5年度の年間入館者数は、昨年度に比べて23

%の増となる39,627人となった。

令和5年5月8日に、新型コロナウイルス感染症の感染症法の位置づけが5類感染症に変更されたことで、コロナ前の入館状況を越え、10月から3月までは月ごとの入館者数が過去最高を記録、年間入館者数も令和元年度41,676人に次いで、過去2番目の記録となった。

2 展示事業（資料2参照）

(1) 常設展示

- ア 建造物としての国指定重要文化財「旧済生館本館」の魅力の紹介
 - ・「旧済生館本館」移築復原工事に関する資料の展示（第7室）
 - ・3・4階（通常非公開）の写真パネルによる展示紹介（1階ロビー）
- イ 済生館が山形市の医療及び保健衛生の向上に果たした歴史
 - ・江戸～明治時代にかけての医学関係資料・医療機器（第4室・第5室・第8室）
 - ・ローレツ博士の遺品（第2室）
 - ・郷土出身の医療関係者に関する資料（第1室・第3室）
- ウ 山形市の歴史に関する資料の展示
 - ・江戸～明治期の地図や行政関係文書などの資料（2階講堂）
 - ・山形城出土の鬼瓦や屋根瓦などの展示（1階ロビー）

(2) 企画展示

- ア 「令和5年度 山形市郷土館・郷土資料収蔵所 新収蔵品展」
～山形藩水野家を読む～
令和4年度に郷土館及び郷土資料収蔵所で寄贈を受けた資料を展示し、新たに寄贈を受けた資料の周知及び活用を図った。
開催期間：令和5年7月15日（土）～8月31日（木）
展 示 物：水野家文書11点・漆掻き^{うるしかき}道具9点
開催期間中の入館者数：4,806人
- イ 「令和5年度 山形市郷土館秋季企画展」
擬洋風ルネサンス
～山形の擬洋風建築から新たに生まれる芸術と歴史の対話～
東北芸術工科大学ルネサンス絵画研究会と郷土館がコラボレーションした絵画の展覧会を開催。若きアーティスト達が、擬洋風建築の傑作である「旧済生館本館」や、所蔵する資料に着想を得た作品を展示した。また、デッサンイベントに参加した市民の作品も展示した。

開催期間：令和5年10月23日（月）～11月30日（木）

開催期間中の入館者数：5,771人

- ウ 「古写真で辿る山形～写真家・菊地新学きくちしんがくの見た世界～」
現天童市出身で三島通庸の御用写真家となり、多くの写真を残した菊地新学の写真のうち郷土館で収蔵する40点を3期に分けて公開した。
開催期間：令和5年12月5日（火）～令和6年1月26日（金）
PART1：12月5日～12月22日：最上・村山・置賜を中心に
PART2：12月23日～1月12日：山形市内建造物
PART3：1月13日～1月26日：庄内を中心に
開催期間中の入館者数 2,823人

- エ 「令和5年度 山形市郷土館文化財成果展」
令和4年度の山形城跡の発掘調査の成果や、新指定文化財を中心に、山形市の文化財に関する成果のパネル展示等を行った。
開催期間：令和6年1月27日（土）～2月29日（木）
主な展示物：
・令和4年度山形城跡発掘調査の成果パネル
・発掘成果物
・令和4年度に新たに指定された市所有の県指定文化財「三部抄さんぶしょう」紹介パネル
・日本遺産「山寺と紅花」関係資料
開催期間中の入館者数：3,598人

- オ 出張展示 「令和5年度 山形市文化財成果展」
郷土館来館者以外にも山形市の文化財について知ってもらうため、郷土館で行った文化財成果展を、令和5年12月3日オープンの道の駅やまがた蔵王において出張展示した。
開催期間：令和6年3月11日（月）～3月22日（金）
※会場の都合により3月16日・17日を除く
会場：道の駅やまがた蔵王

3 普及事業

(1) 「郷土館だより」の発行

令和6年3月に第98号を発行（800部印刷）

ア 掲載内容

- ・寄稿文『明治期に大流行したコレラの防疫対策に貢献したローレツ博士ここれらびょうしんしの先駆的業績－「虎列刺病新誌」の刊行を中心に－』
(帝京大学医真菌研究センター 名誉教授 山口英世やまぐち ひでよ氏)
- ・「山寺立石寺奥之院おおとうろうの大灯籠」の山形市指定文化財への指定について
- ・令和5年度 郷土館の事業等紹介
- ・令和6年度 郷土館の事業予定等紹介

イ 送付者（R5年度実績） 444部

内訳 博物館	58部(58ヶ所)
医療関係機関	42部(42ヶ所)
行政機関（市町村教委）	34部(34ヶ所)
行政機関（山形市）	140部(87ヶ所)
その他（その他団体等）	61部(34ヶ所)
個人（寄贈者等）	109部(109ヶ所)

※残り約350部を郷土館、文化創造都市課等で配付
平成18年度より最新号をホームページにおいても公開している。

(2) 「郷土館ナイトミュージアム」の開催

通常午後4時30分の閉館時間を3時間延長して午後7時30分まで開館し「旧済生館本館」の3・4階の灯りを点けて、来館者が闇夜に浮かび上がる普段と異なる雰囲気「旧済生館本館」の魅力をPRするとともに、館内展示を見学できる機会として開催した。(春・夏・秋・冬の四季にあわせて開催)

開催日時：第1回	4月 8日(土)	125人	4月 9日(日)	110人
	4月 15日(土)	13人	4月 16日(日)	12人
第2回	8月 25日(金)	17人		
第3回	11月 3日(金・祝)	54人		
第4回	2月 9日(金)	50人		

計 381人

開催時間：午後4時30分～7時30分

申し込み：不要

(3) 「旧済生館本館」3・4階特別公開の開催

通常非公開としている3・4階を特別に公開することで、多くの来館者に「旧済生館本館」の魅力を伝える機会として開催した。

開催日時：第1回	7月 1日(土)	10:30～12:00	(有識者解説あり)
第2回	7月 29日(土)	11:00～・13:15～	(解説なし)
第3回	10月 28日(土)	11:00～・13:15～	(解説なし)
第4回	11月 25日(土)	10:30～12:00	(解説あり)

※有識者：小形利彦氏（元郷土館運営協議会委員）

申 込：要申込

参加者数：第1回15人 第2回9人 第3回10人 第4回11人

合計 45人

(4) デジタルアーカイブの公開

山形大学附属博物館が中核館となって組織する「山形アーカイブ実行委員会」に参加し、事業の一環として、郷土館の収蔵資料の一部をデジタルアーカイブ化して公開している。

○写真	140点	○地図	9点	○絵葉書	12点	○文書	38点
○絵画	11点	○その他	5点	<u>合計 215点</u>			

山形アーカイブ URL

<https://cherry.yum-archives.net/yamagata-archive/>



(5) 団体等の見学への対応

下表の団体客の見学申し込みを受け入れた。

団体入館者数

	令和5年度	令和4年度
団体数	102 団体	70 団体
見学者数	2,624 人	1,830 人

主な見学団体：旅行会社によるツアーなどの一般（60団体 1,197人）
大学生（6団体 112人） 高校生（1団体 5人）
中学生（2団体 15人） 小学生（33団体 1,295人）

(6) 広報活動

市公式ホームページ、市公式フェイスブック、市公式LINE及び広報やまがたでの事業の周知活動に加え、山形市郷土館の独自 Facebook・Instagram のアカウントを開設し、企画展、3・4階特別公開、季節ごとの風景、所蔵する資料などについて78件の情報発信を行った。

(7) 郷土館の撮影・取材及び掲載への協力

テレビ番組や雑誌の撮影・取材に協力し、メディアを通じたPRを行った。

掲載等許可件数

	令和5年度	令和4年度
掲載許可	14 件	18 件
放送許可	4 件	1 件
所蔵資料閲覧件数	0 件	2 件
所蔵資料貸出件数	2 件	0 件

主な内容：テレビ番組「NHK BS プレミアム 新日本風土記」、
書籍「まっふる東北“25」、書籍「まっふる山形“25」
小学館雑誌「和楽」など。

4 施設の維持管理

- (1) 郷土館内外の保全及び事故等の防止を目的として、開館中における巡回点検を行った。
- (2) 火災報知器等防火設備の整備・点検（8月・2月）を実施
- (3) 消防訓練（6月・11月・1月）を実施した。1月の文化財防火デーに合わせた訓練においては、消防本部と連携し、放水などのデモンストレーションを行い、マスコミなどを通じて広く文化財の防火についての啓発を行った。
- (4) 館内外の清掃の徹底並びに庭の美観の維持や樹木等の剪定（9月）と雪囲い（11月）を実施。
- (5) 建物施設のこん虫等防除（8月）を実施

5 その他

- (1) 三層楼ライトアップの継続（18時～22時まで。ただし冬季は日没時より。）
- (2) 来館者へのサービス
 - ・敷地内植物から採取した花の種の配布
 - ・手作りの^{しおり}葉の配布
- (3) 開館時間の延長（霞城観桜会、花笠まつりの期間）
- (4) 来館者アンケートの実施（結果は資料3を参照）

令和6年度 山形市郷土館事業計画（案）

1 運営方針

- (1) 明治初期の擬洋風建築の傑作といわれる、国指定重要文化財「旧済生館本館」の建物の保存と活用を図る。
- (2) 郷土の医学や歴史に関する資料を保存・展示する施設としての維持管理・運営を行う。
- (3) 常に来館者を意識した事業及び日常業務を行い、市民、観光客ともに親しみや興味を持ってもらえる、山形市の郷土の魅力を発信できる施設を目指す。

2 展示事業

(1) 常設展示

ア 建造物としての「旧済生館本館」の魅力の紹介

これまで第7室に展示していた「旧済生館本館」移築復元工事に関する資料及び3・4階（通常非公開）の写真パネルを2階講堂に移設し、建物の魅力を紹介する。

イ 済生館が山形市の医療及び保健衛生の向上に果たした歴史

- ・江戸～明治時代にかけての医学関係資料・医療機器（第4室・第5室・第8室）

- ・ローレツ博士の遺品（第2室）

- ・郷土出身の医療関係者に関する資料（第1室・第3室）

ウ 山形市の歴史に関する資料の展示

- ・江戸～明治期の地図や行政関係文書などの資料（2階講堂）
- ・山形城出土の鬼瓦や屋根瓦などの展示（1階ロビー）

(2) 企画展示

令和6年度から企画展示の開催期間中に、地域おこし協力隊の隊員によるギャラリートークを行う。ギャラリートークは展示の企画意図や内容、見どころなどを解説するもので、来館者の資料への理解を深める。【新規】

ア 山形市郷土館 新収蔵品展（資料4参照）

令和5年度に郷土館で新たに寄贈を受けた資料を新規資料として活用及び周知を図る。

なお、令和5年度に郷土館へご寄贈いただいた資料は次のとおり。

- ・済生館医学校職員・卒業生集合写真 2枚
- ・「旧済生館本館」解体調査工事資料記録写真集 11冊、ビデオテープ 3本
- ・医療器具 1式、内科手術器具 1式、往診カバン 1式

開催期間：令和6年7月20日（土）～9月1日（日）（予定）

ギャラリートーク：7月27日（土）・8月27日（火）（予定）

イ 山形市郷土館 秋季企画展

(仮称)「山形五堰と山形のまちづくり」

山形五堰が、令和5年11月4日に世界かんがい施設遺産に登録されたことを記念して、山形五堰と山形のまちづくりとの関わりを紹介する企画展を開催する。世界かんがい施設遺産とは、歴史的・技術的・社会的価値のあるかんがい施設を登録・表彰する制度で、世界で19か国、161施設が登録されている。そのうち日本国内は51施設(28府県)あり、山形県内では、北楯大堰きただておおぜき(庄内町)が登録されており、山形五堰は県内2番目の登録となる。

開催期間：令和6年10月5日(土)～11月10日(日)(予定)

ギャラリートーク：10月開催(予定)

ウ 山形市郷土館 冬季企画展

郷土館所蔵品の中から、市民等に見てもらいたい品を選んで展示

開催期間：令和6年12月14日(土)～令和7年1月19日(日)(予定)

ギャラリートーク：12月開催(予定)

エ 山形市文化財成果展

令和5年度に山形市内で行なわれた遺跡調査成果、新指定文化財及び文化財の活用等について、写真及びパネルによる紹介を行ない、山形市内の文化財について普及・啓発を図る。

開催期間：令和6年2月8日(土)～3月9日(日)(予定)

ギャラリートーク：2月開催(予定)

3 普及事業

(1) 「郷土館だより」の発行

寄稿文や新指定文化財の掲載等を予定し、令和7年3月発行予定。

(2) 「郷土館ナイトミュージアム」の開催

通常午後4時30分の閉館時間を3時間延長して午後7時30分まで開館し

「旧済生館本館」の3・4階の灯りを点けて、来館者が闇夜に浮かび上がる普段と異なる雰囲気「旧済生館本館」の魅力をPRするとともに、館内展示を見学できる機会とする。(春・夏・秋・冬の四季にあわせて開催予定)

(3) 3・4階特別公開の開催(有識者解説ありを2回、解説なしを2回開催予定)

開催日時：第1回 6月29日(土) 10:30～(有識者解説あり)参加者19人 開催済

第2回 7月27日(土) 11:00～・13:15～(解説なし)

第3回 10月開催予定(解説あり)

第4回 11月開催予定(解説なし)

※有識者：小形利彦氏(元郷土館運営協議会委員)

(4) デジタルアーカイブの作成

山形大学附属博物館が中核館となって組織する「山形アーカイブ実行委員会」に参加し、本館建造物及び収蔵資料の一部のデジタルアーカイブの作成を行う。

予定している内容：「旧済生館本館」解体調査工事資料記録写真集等

(5) 団体等の見学への対応

旅行会社によるツアー、小・中学校等の団体客の受け入れに努める。

(6) 広報活動

市公式ホームページ、市公式フェイスブック、市公式 LINE 及び広報やまがたでの事業の周知活動に加え、山形市郷土館の独自 Facebook・Instagram のアカウントで、企画展、3・4 階特別公開、季節ごとの風景、所蔵する資料などについて情報発信する。

(7) 郷土館の撮影・取材及び掲載への協力

テレビ番組や雑誌の撮影・取材に協力し、メディアを通じた PR を行っていく。

(8) 市公式 YouTube への動画の公開【新規】

通常非公開の 3・4 階の様子などを動画で撮影し、公開する。

4 施設の維持管理

(1) 郷土館内外の保全及び事故等の防止を図るため、開館中の巡回点検の実施

(2) 火災報知器等の防火設備の整備・点検（8 月・2 月）を実施

(3) 消防訓練（5 月・10 月・1 月）の実施。1 月の文化財防火デーに合わせた訓練においては、消防本部と連携し、放水などのデモンストレーションを行い、マスコミなどを通じて広く文化財の防火についての啓発を行う。

(4) 館内外の清掃を徹底するとともに、庭の美観を維持するため、樹木の選定（夏季）と雪囲い（冬季）を実施

(5) 建物のこん虫等防除（7 月）を実施

5 その他

(1) 三層楼ライトアップ（18 時～22 時まで。ただし冬季は日没時より。）

(2) 来館者へのサービス

・敷地内植物から採取した花の種の配布

・手作りの葉の配布

(3) 開館時間の延長（霞城観桜会、花笠まつりの期間に依頼があり対応を予定）

(4) 来館者アンケートの実施（9 月予定）

資料1

月別入館者数

	5年度	4年度	前年比	3年度	2年度	元年度
4月	5,568	4,173	1.33	1,986	7	7,774
5月	3,466	3,300	1.05	1,591	152	4,938
6月	2,550	2,029	1.26	1,358	692	3,526
7月	2,345	2,026	1.16	1,624	1,237	3,092
8月	3,427	2,728	1.26	1,641	1,352	4,192
9月	3,182	2,703	1.18	1,674	2,082	3,486
10月	4,162	3,703	1.12	2,478	2,800	3,929
11月	4,397	3,864	1.14	3,365	3,679	3,626
12月	2,026	1,423	1.42	1,279	1,139	1,525
1月	1,718	972	1.77	784	370	1,602
2月	3,137	1,787	1.76	1,116	846	1,918
3月	3,649	3,494	1.04	1,658	1,526	2,068
計	39,627	32,202	1.23	20,554	15,882	41,676

※令和2年度は4月1日～5月17日まで臨時休館

郷土館入館者数の推移

年度	有料入館者数(人)		減免入館者数(人)			総計(人)	入館料(円)
	大人	小人	大人	小人	土曜小人		
平成13年度	9,804	1,196	1,508	894	573	13,930	2,039,550
平成14年度	5,747	829	4,290	1,155	278	12,299	1,204,920
平成15年度	8,831	893	552	783	396	11,455	1,802,990
平成16年度	9,832	977	496	1,096	375	12,776	2,016,640
平成17年度	8,917	677	712	1,171	227	11,704	1,811,380
平成18年度	8,815	596	1,186	1,123	219	11,939	1,806,900
平成19年度	9,292	619	745	1,090	249	11,995	1,900,900
平成20年度	8,530	911	688	1,179	276	11,584	1,777,780
平成21年度	—	—	—	—	—	25,509	—
平成22年度	—	—	—	—	—	26,269	—
平成23年度	—	—	—	—	—	22,939	—
平成24年度	—	—	—	—	—	25,687	—
平成25年度	—	—	—	—	—	23,303	—
平成26年度	—	—	—	—	—	28,420	—
平成27年度	—	—	—	—	—	25,758	—
平成28年度	—	—	—	—	—	26,511	—
平成29年度	—	—	—	—	—	28,980	—
平成30年度	—	—	—	—	—	32,286	—
令和元年度	—	—	—	—	—	41,676	—
令和2年度	—	—	—	—	—	15,882	—
令和3年度	—	—	—	—	—	20,554	—
令和4年度	—	—	—	—	—	32,202	—
令和5年度	—	—	—	—	—	39,627	—

備考 ; ① 入館料 ; 平成21年度4月より全面無料化

② 休館日 ; 平成21年度より年末年始(12/29~1/3)のみとした。

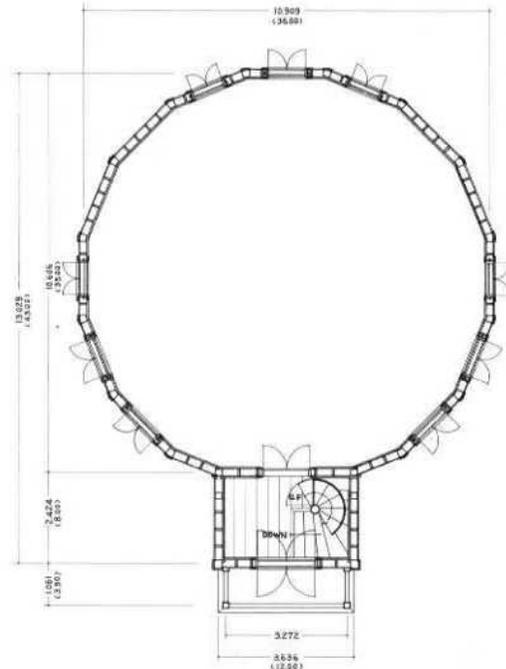
③ 平成14年度は、保存修復事業により、一部展示室を閉鎖したため、6月~8月まで入館料を無料にした。

④ 平成18年度は、廻廊床面塗替えのため、9月5日~16日まで入館料を無料とした。

⑤ 平成22年度は、東日本大震災の影響のため、平成23年3月12・13・16~31日まで臨時休館とした。

⑥ 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、4月1日~5月17日まで臨時休館とした。

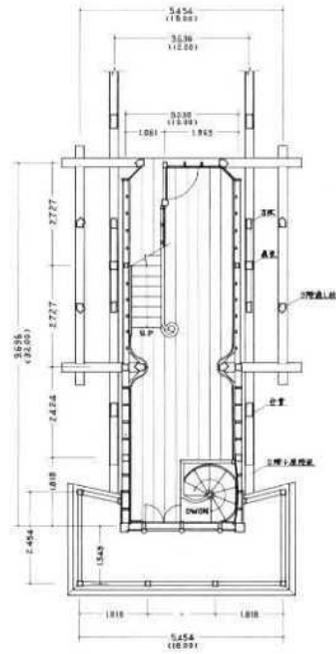
【2階】



2 階

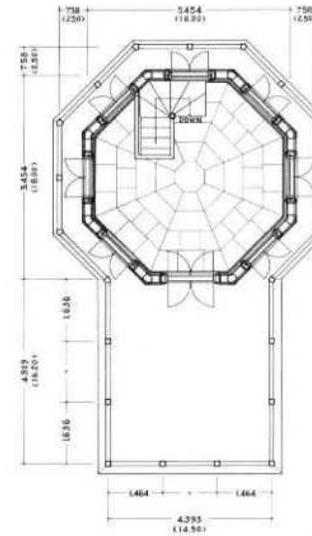


【3階】



階段室

【4階】



3 階

令和5年度 山形市郷土館アンケート調査

1 実施日

令和5年9月23日(土・祝) 午前9時から午後4時30分
9月24日(日) 午前9時から午後4時30分

2 配布数

・配布数200件 ・回収数157件 (回収率78.5%)

3 アンケート結果

(1)入館者の居住地

項目	山形市内	山形県内	山形県外	日本国外	未記入	計
計	9	10	136	2	0	157
割合	5.7%	6.4%	86.6%	1.3%	0.0%	100.0%

・来館者の約87%が県外から来館している。

(2)入館者の年齢

項目	山形市内	山形県内	山形県外	日本国外	未記入	計	割合
10歳未満	0	0	0	0	0	0	0.0%
10代	0	0	3	0	0	3	1.9%
20代	0	1	12	0	0	13	8.3%
30代	3	3	13	1	0	20	12.7%
40代	5	3	36	1	0	45	28.7%
50代	1	1	36	0	0	38	24.2%
60代	0	2	26	0	0	28	17.8%
70代	0	0	10	0	0	10	6.4%
80歳以上	0	0	0	0	0	0	0.0%
未記入	0	0	0	0	0	0	0.0%
計	9	10	136	2	0	157	100.0%

・40代と50代で来館者の約53%を占めている。次いで、60代、30代が多くなっている。

(3)入館の目的

来館の目的	山形市内	山形県内	山形県外	日本国外	未記入	計	割合
観光	2	6	119	2	0	129	82.2%
視察や研修など	1	0	1	0	0	2	1.3%
たまたま通りかかって	5	4	12	0	0	21	13.4%
その他	1	0	4	0	0	5	3.2%
未記入	0	0	0	0	0	0	0.0%
計	9	10	136	2	0	157	100.0%

・来館者の約82%が観光を目的としている。次いで、たまたま通りかかって来館した方となっている。

(4)入館回数

項目	山形市内	山形県内	山形県外	日本国外	未記入	計	割合
初めて	4	7	126	2	0	139	88.5%
2回目	3	3	8	0	0	14	8.9%
3回目以上	2	0	2	0	0	4	2.5%
未記入	0	0	0	0	0	0	0.0%
計	9	10	136	2	0	157	100.0%

・来館者の約89%が初めての来館となっている。これは県外からの来館者とほぼ同じ割合であり、県外からの観光客が郷土館の主な来館者であることがわかる。

(5)郷土館を知ったきっかけ

項目	山形市内	山形県内	山形県外	日本国外	未記入	計	割合
観光雑誌(パンフレットなど)	2	2	44	0	0	48	30.6%
新聞やテレビなど	1	2	6	0	0	9	5.7%
旅行業者(ツアーなど)	0	1	1	0	0	2	1.3%
インターネットの観光情報	0	1	39	2	0	42	26.8%
郷土館ホームページ	0	2	4	0	0	6	3.8%
その他	0	1	30	0	0	31	19.7%
未記入	6	1	12	0	0	19	12.1%
計	9	10	136	2	0	157	100.0%

・観光雑誌(パンフレットなど)が約31%、次いでインターネットの観光情報が約27%となっており、紙媒体、ネット媒体でほぼ同じ割合で情報を得ていることがわかる。

(6)来館して興味・関心を抱いたもの(複数回答可)

項目	山形市内	山形県内	山形県外	日本国外	未記入	計	割合
建物	8	8	124	2	0	142	55.7%
医学資料	4	5	59	0	0	68	26.7%
郷土資料	3	3	36	0	0	42	16.5%
特になし	0	0	0	0	0	0	0.0%
その他	0	0	2	0	0	2	0.8%
未記入	0	0	1	0	0	1	0.4%
計	15	16	222	2	0	255	100.0%

・約56%が国指定重要文化財である建物に関心を持ち、次いで医学資料、郷土資料の順に割合が高い。

(7)意見・感想等

①建物について

特異な建物がよく移築保存されているのを見学して大変興味を覚えました。今後共ぜひ大切に保存してください。

建物の美しさに感動した。昔の最先端の建物・医術・人材のあったことを感じる事ができました。

正面から入ってみたいです。2Fからの窓の景色が良かったです。

このような古い建物が現存されているのに感動しました。

とてもモダンなすばらしい建物に感動しました。保存のご苦労がうかがえます。どうもありがとうございます。

大変古い資料が整理されていて良かったです。これから保護、整理に勤められることを望みます。ありがとうございます。擬洋風建築に興味があります。

昔の建物はすぐれています。美術です。

とてもステキな建物。大事に残して欲しい！！

とてもすてきな建物と当時の医療の資料が見られて良かったです。

医療器具等を見て現在に生まれて良かったと思いました。建物の設計がめずらしく、きれいだと思いました。

とてもすごいなと思いました。建物もモダン・医学の貴重な資料。東京八王子から来ました。帰ったらみんなに伝えたいです。医学を目指す知り合いに伝えます。

とても形が変わった建物にインパクトを受けました。昔の医療器材や旧駅舎の写真も興味をそそりました。

山形の郷土について知ることができとても有意義でした。建物がとてもすてきで印象に残りました。

建物がモダンで作りが動きやすく感動。医療の歴史がわかり有意義でした。

②資料・展示について

大変貴重な資料が多く感銘しました。

医学資料、まず見る機会のないものなのでとても興味深かったです。

すばらしかったです。医療関係にいましたのでとても感動しました。一つ一つの資料をじっくり見ました。ありがとうございます。興味深く見学させていただきました。多くの資料等を保管されていることに関心いたしました。

酸素発生装置が興味深い。あと胃カメラ。

プラタモリを観て山形の歴史に興味を持ったので実際に資料をみる事ができて嬉しいです。

当時の医学書、医療器材や薬剤等の内容、概略が知りたい。

とても見応えのある展示ばかりでした。また今度ゆっくり拝見させて頂きたいです。ありがとうございます。

歴史を感じられ思った以上に満足。しかも無料というところが有り難い。

医学資料、書物がたくさんあってびっくりしました。

③要望など

錦絵の写真が撮りたかった。

3・4階も見学してみたかった。危険であるためなので仕方ないが、希望した人は入れるようになったら良いと思った。

有料にして維持費や修復に使ったらと思います。

④感想など

すてきな建物や展示があって面白かったです。

土木・建築業に携わっているので訪問しました。

来てよかったです。(大連から)

大変すてきでした。

無料とは思えない見応えです。

山形大にお世話になりながら初めて済生館に入り見学させて戴きました。素晴らしいお取り組みに感心しました。息子は高校生以上から興味がありじっくり見ていました。

とても良かったです。

時間のある時にゆっくり見たい施設です。

とても勉強になりました。

とても興味深く、来館してよかったです。

無料で見学できてありがたいと思います。

有料でも良いと思います。

大変興味深かったです。



山形市郷土館(旧済生館本館) 新収蔵品展 「三層楼」今昔物語



令和6年 7/20(土) - 9/1(日)

1966年、国の重要文化財に指定された年に、旧済生館本館は七日町から現在の霞城公園へと移築復原されることが決定しました。今年の新収蔵品展は、この移築復原工事時の写真資料を中心に、旧済生館本館の建築と歴史を伝える展覧会です。

山形市のシンボルとして親しまれてきた三層楼の今と昔の物語をお楽しみください。

開館時間 9:00-16:30

会場：山形市郷土館2階講堂 山形市霞城町1-1

ギャラリートーク(事前申込不要)

日時：7/27(土)、8/20(火) 14:00-14:30 集合：山形市郷土館 玄関前

主催：山形市文化スポーツ部 文化創造都市課 文化財係

tel：023-641-1212(内線：626・627) mail：bunka@city.yamagata-yamagata.lg.jp



【山形市公式HP】



【郷土館 Instagram】



【郷土館 Facebook】